



応募要項  
Application Procedures

第7回 国際コンペティション 名古屋デザインDO! 2010

# 未来のために まもる・すくう・できる

The 7th International Competition NAGOYA DESIGN DO! 2010  
Theme : *Design to Empower Tomorrow*

第1次審査用応募作品受付期間

**2010年4月1日(木) - 23日(金)**

First screening application acceptance period  
**From April 1 to April 23, 2010**

主催 名古屋国際デザインコンペ開催委員会  
(構成団体：名古屋市・(株)国際デザインセンター・中部デザイン団体協議会)

名古屋国際デザインコンペ開催委員会事務局  
〒460-0008 名古屋市中区栄3-18-1 デザインセンタービル6F (株)国際デザインセンター内  
TEL:052-265-2105 FAX:052-265-2107

Organizer Nagoya International Design Competition Committee  
Consisting of Nagoya City, International Design Center NAGOYA,  
Council of Chubu Design Organization(CCDO)

Secretariat:  
International Design Center NAGOYA Inc.  
Design Center Bldg., 18-1, Sakae 3-chome, Naka-ku, Nagoya 460-0008, Japan  
PHONE: +81-52-265-2105 FAX: +81-52-265-2107

[www.idcn.jp/compe](http://www.idcn.jp/compe)



第7回 国際コンペティション  
名古屋デザインDO! 2010  
テーマ **未来のために—まもる・すくう・できる Design to Empower Tomorrow**

## テーマ趣旨

未来のことを見てください。

あなたの10年後、20年後。あるいは100年後の世界のことを。

未来のためにまもりたいものは何ですか？

私たちが生きていくために必要な、自然の豊かさやバランスが保たれた環境。

地球温暖化をくいとめるため、世界中が力を合わせとり組まなければならないCO<sub>2</sub>の削減。

核兵器のない平和な社会。

今すぐ始めなくてはならないことがたくさんあります。

私たちの命、地球の命を救うために、何をすればよいのでしょうか？

大地震や大水害などの自然災害から、私たちの命を救うために。

さまざまな犯罪の危険や社会の不安から、私たちの心と身体をまもり、救うために。

子どもたちが健やかに育ち、私たちが年老いても安心して暮らせる社会のために。

未来をまもり、救うために、デザインができること。

そんな視点で、ものや空間、コミュニケーション、システムなどをとらえ直してください。

2010年、名古屋は街の誕生から400年目を迎えます

「クリエイティブ・デザインシティなごや」は、次の100年を考えるために、このテーマを世界の若者たちに投げかけたいと思います。

\* 名古屋デザインDO! 2010 のテーマは、名古屋国際デザインコンペ開催委員会・企画委員会が策定しました。

名古屋市は、日本の中心に位置し、長い伝統と織維、陶磁器、家具、輸送機器、情報機器など幅広い産業集積を持つ人口約225万人の都市です。この街の歴史は江戸時代の1610年の名古屋城築城に始まり、2010年は「名古屋開府400年」の節目の年となります。

「モノづくりのまち・名古屋」は1989年にデザインをテーマとする「世界デザイン博覧会」を開催、あわせて「デザイン都市宣言」を行い、以来、デザインを核とする街づくりやデザインイベントを積極的に行ってきました。デザイン創造支援拠点「国際デザインセンター」の設立、国際的デザイン会議やさまざまなイベントの開催、若手人材の育成など、これまでの「デザイン都市」としての取り組みと将来へのビジョンが評価され、2008年10月にはユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の「クリエイティブ・シティズ・ネットワーク」(\*1)デザイン分野の加盟都市となりました。

2010年は「名古屋開府400年」とともに、「生物多様性」に関する国際会議「COP10: 生物多様性条約第10回締約国会議」(\*2)が名古屋で開催されます。私たちが生きていくうえで、生態系の豊かさやバランスが保たれている「生物多様性」という状態はなくてはならないものですが、資源やエネルギーの循環型社会、持続可能な社会をつくることが「生物多様性」の環境をまもることでもあります。

デザインシティなごやは、「環境首都なごや」の実現もめざしています。

(\*1)ユネスコ・クリエイティブ・シティズ・ネットワーク: クリエイティブ・デザインシティなごやHP参照 <http://www.creative-nagoya.jp>

(\*2)COP10: 生物多様性条約第10回締約国会議 <http://cop10.jp/aichi-nagoya/>

---

**1 テーマ** 未来のために—まもる・すくう・できる Design to Empower Tomorrow

---

**2 応募条件**

## ●対象分野

あらゆるデザイン分野を対象とし、テーマに即した斬新なデザインを求めます。

応募部門は4部門に分かれます。

1.プロダクト部門

2.空間部門

3.ビジュアル・コミュニケーション部門

4.その他の部門

## ●応募作品

新たに創作した未発表の作品に限ります。未発表とは、主催者による第2次審査結果発表の時点での「製品化されていないこと」「新聞・雑誌・展示会(※1)・ウェブサイト等で公表していないこと」を指します。権利確保のための意匠広報への掲載は未発表として扱います。本コンペ以外への重複応募は避けてください。(※2)

(※1)展示会：卒業制作などの大学内発表、個人の展覧会などでの発表内容は応募可とします。

(※2)主催者による第2次審査結果発表より後の発表は自由です。

## ●応募資格

18歳以上35歳未満の個人またはグループで応募することができます。

※2010年4月23日(金)(第1次審査応募締切日)時点での年齢が18歳以上35歳未満とします。

グループの場合は、全員が18歳以上35歳未満でなくてはなりません。

※このコンペティションの関係者、審査員それらの家族の応募、ならびに関係者および審査員のいずれかとの共同創作はできません。

## ●応募点数

応募者1人(あるいは1グループ)につき1点とします。

## ●公用語

このコンペティションの公用語は、日本語／英語とします。

## ●出品手数料

応募に際しての出品手数料は不要です。

---

**3 審査**

## ●審査方法

このコンペティションの審査は、第1次審査と第2次審査の2段階で行います。第1次審査はホームページから応募された作品を審査します。

第2次審査は第1次審査を通過した作品を、パネルや任意に提出される模型または実物、プレゼンテーション映像などにより行います。

## ●審査基準

テーマに対する適合性・社会的妥当性・独創性・革新性・機能性などが審査の基準となりますが、その詳細は審査員団により決められます。

## ●審査基準

第1次審査結果は、応募者全員にE-Mailでお知らせします。

また、第1次通過者の氏名、作品名はホームページで発表しますので、審査結果のE-Mailを受け取れない場合は、ホームページでご確認下さい。

---

**4 審査員**

審査員団は、第1次審査が5名、第2次審査が5名で構成されます。

\* 審査員については決定次第ホームページで発表します。

---

**5 応募方法**

## ●第1次審査応募方法

## ◎応募期間

第1次審査用作品応募期間 2010年4月1日(木)～23日(金)

※日本時間4月23日(金)午後5時以後の受取りはできませんので、時差および送付期間を考慮に入れて、余裕を持ってご応募ください。

## ◎応募方法

第1次審査用作品はホームページからの応募とします。 [www.idcn.jp/compe](http://www.idcn.jp/compe)

必ずホームページ内の応募フォームを使用して下さい。

○1回の送信で1作品の応募に限ります。応募作品1点につき、5ファイル以内でプレゼンテーションしてください。データ容量制限がありますので注意事項を厳守してください。

○登録フォームに記入する言語は、日本語または英語に限ります。

○グループで応募する場合は、登録フォームの「応募者氏名」の欄に代表者1名を選んで記入してください。(共同創作者の氏名も記入してください。)

○登録受付は日本時間2010年4月23日(金)午後5時受信分をもって終了します。それ以降の受信はできませんので、時差および送信タイムラグを考慮に入れて余裕を持って送信してください。

注意=締切日の直前になると、多くの応募が重複することが予測されます。サーバーへのアクセストラブルが出る可能性もありますので、確実に応募するためには、余裕を持って応募されることをおすすめします。

○応募用登録フォームは、2010年4月1日(木)～4月23日(金)(日本時間)の応募期間のみ入力が可能です。期間外は入力できません。

## 5 応募方法

### ●第1次審査応募方法

#### ◎応募の注意

JAVAスクリプトが有効な状態で送信して下さい。

データ規定／ファイル形式：JPEG形式に限ります。Macの場合は拡張子を確認して下さい。

データ容量：1回の送信で1作品の応募に限ります。

○1作品は5ファイル以内でプレゼンテーションされており、1ファイル(画像)のデータ容量は、400KB以内とします。

○画像サイズは縦・横長い方の辺が1,000ピクセル以下となるように納めてください。

○匿名性：応募作品の画面表面上には、応募者本人を判別できる一切の文字や記号を記入しないでください。

○提出書類：応募フォームの記入(記入言語は日本語または英語に限ります)

応募フォーム [www.idcn.jp/compe](http://www.idcn.jp/compe)

応募フォームは2010年4月1日(木)～23日(金) (日本時間)の応募期間のみ入力が可能です。

#### ◎作品の受付通知

ホームページの登録フォームの画面上で、登録が完了したら受付番号を表示します。

また、確認のためE-mailでも作品受付通知をお送りします。

### ●第2次審査応募方法

#### ◎第2次審査応募資格

第2次審査は、第1次審査を通過した作品の応募者のみ出品できます。

詳しい案内は改めて第1次審査通過者にお送りします。

#### ◎第1次審査用作品と第2次審査用作品の同一性

第1次審査を通過した作品は、作品の完成度等をさらに高めて第2次審査に提出していただきますが、コンセプトやフォルムの大幅な変更は認められません。

#### ◎作品の返却

第1次審査用作品は、お返ししません。

第2次審査用作品は、返却希望者のみ展示会終了後6ヶ月以内に、お返しします。

ただし、グランプリ作品および金賞を受賞した作品はお返しません。

※ 作品の返却を希望する場合は、第2次審査用応募用紙に「返却希望」と明記してください。

ただし返送にかかる費用は応募者負担となります。未記入の場合はお返しません。

## 6 賞

### ●賞と賞金

グランプリ………1点 100万円

部門賞………4点 各10万円

1.プロダクト部門(1点) 2.空間部門(1点)

3.ビジュアル・コミュニケーション部門(1点) 4.その他の部門(1点)

入選……… 約15点 記念品 (賞金には税金が含まれています。)

### ●ワークショップへ招待

グランプリ、部門賞の受賞者(グループ制作の場合は代表者1名)を、名古屋で行われるワークショップへ招待します。

※その渡航航空運賃・日本国内交通費・宿泊費は主催者が負担します。ただし、現金での授与はできません。

〈ワークショップの内容〉2010年11月(予定)の約1週間開催します。

### ●受賞作品の発表

受賞作品をはじめ第2次審査に提出された作品は、すべて国際デザインセンターで開催される展示会で公開されます。また、作品集に収録し、インターネットのホームページ上に掲載します。

※第2次審査に提出され受賞しなかった作品の展示、公表についての承諾は、あらかじめ第2次審査用応募用紙で応募者の意思を確認します。

## 7 諸権利

### ●諸権利

応募作品の著作権および工業所有権等に関する権利は、応募者にあります。したがって、これを保護する責任は応募者本人にありますので、出品の際は、必要に応じて意匠登録等の手続きを済ませてください。また、作品に他人の写真、印刷物を使用する場合、著作権の問題が発生しますので、特に注意してください。

なお、受賞作品と第2次審査出品作品の展示および出版に関する権利、その他主催者が発行、許可する出版・印刷物への掲載に関する権利は、応募者と主催者両方にあることを、応募者が本コンペティションに応募することにより同意したものとみなします。

次の事項に該当する作品は、審査対象から除外され、あるいは受賞発表後であっても受賞を取り消すことがあります。

(1)応募要項に反する作品

(2)既発表のデザインと同一、または類似の作品

(3)他の著作権、工業所有権等の侵害であることが明らかとなった作品

(4)提出された作品について展示や出版物、インターネットなどで公表することを拒否するもの

**8 スケジュール**

第1次審査用作品受付期間	2010年4月1日(木)～23日(金)
第1次審査	2010年6月初旬
第1次審査結果の通知	2010年6月下旬
第2次審査用作品受付締切日	2010年8月31日(火)
第2次審査	2010年10月上旬
第2次審査結果の通知	2010年10月中旬
ワークショップの開催／表彰式・展示	2010年11月下旬(予定)(国際デザインセンター)
受賞作品の発表(ホームページなどでの発表)	2010年11月下旬

**9 問い合わせ****● 応募要項についての質問**

応募に関するご質問はE-mailあるいはファックスで事務局までお問い合わせください。  
電話によるお問い合わせは受け付けません。

**【問い合わせ先】**

(株)国際デザインセンター内 名古屋国際デザインコンペ事務局  
お問い合わせ用 E-Mail : **designdo2010@idcn.jp**  
お問い合わせ用 Fax : **052-265-2107**

**● 第2次審査用作品の送付先**

第2次審査へは第1次審査通過者のみ応募できます。第2次審査用作品は下記にお送り下さい。

**【送付先】**

〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目18-1 デザインセンタービル6F  
(株)国際デザインセンター内 名古屋国際デザインコンペ事務局  
Tel:052-265-2105 Fax: 052-265-2107  
<http://www.idcn.jp/compe>  
designdo2010@idcn.jp



主催：名古屋国際デザインコンペ開催委員会

構成団体：名古屋市／（株）国際デザインセンター／中部デザイン団体協議会

事務局：〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目18-1 デザインセンタービル6F

(株)国際デザインセンター内 名古屋国際デザインコンペ事務局

Tel:052-265-2105 Fax: 052-265-2107

<http://www.idcn.jp/compe>

designdo2010@idcn.jp



第7回 国際コンペティション 名古屋デザインDO! 2010		第1次審査用応募フォーム記入内容(サンプル)
第1次審査用 応募方法	第1次審査に応募する場合、ホームページからの応募とします 必ずホームページ内の応募フォームを使用して下さい。 登録フォームは <b><a href="http://www.idcn.jp/compe">www.idcn.jp/compe</a></b>	

第1次審査用応募フォームの記入内容(日本語の場合)

**応募者についての記入事項**

■ 応募者氏名(代表者)

■ 氏名の英字表記 姓 名

■ 国籍

■ 居住国

■ 生年月日(西暦) 年 月 日 ■ 性別  男  女

■ 連絡先住所 郵便番号 —

■ 電話番号 — ■ ファクシミリ番号 —

■ E-メールアドレス

■ 共同制作者名(日本語及び英字表記)

■ 職業(該当するものを1つ選び必要事項を記入してください)

- 学生 学校名
- 企業内デザイナー 企業名 分野
- フリーランスデザイナー 所属団体
- その他

**応募作品についての記入事項**

■ 応募作品名

■ 応募部門

あなたの作品を応募する部門を選んでください。

- 1 プロダクト部門(インダストリアルデザイン、トランスポーテーションデザイン、クラフトデザインなど)
- 2 空間部門(インテリアデザイン、アーキテクチャー、ランドスケープデザインなど)
- 3 ビジュアル・コミュニケーション部門(グラフィックデザイン、パッケージデザイン、コミュニケーションデザインなど)
- 4 その他の部門(1~3の分類にあてはまらないもの)

■ 作品意図(400字以内で記入してください)

■ 各ファイルの番号に合わせて、簡単な解説を100字以内で記入してください。

作品画像ファイル数(最大5画像まで) :

1: -----

2: -----

3: -----

4: -----

5: -----

■ 宣誓 この作品は私(私達)自身が創作した作品であることを誓います。 年 月 日 署名